



全自動無人運転のモノレールゆりかもめは、お台場めぐりの象徴だ。豊洲駅まで延長され*、さらに便利になる。豊洲は築地市場移転計画もあり、今後大きく変貌するかもしれない。
* 2006年3月27日開通予定



砂浜から対岸のビルが見渡せるお台場海浜公園。品川駅前地区、汐留地区、六本木地区で巨大オフィス・ビルの開発が進んでいるのがわかる。

ハンディ機でどこまで交信できるか(ハンディ機↔ハンディ機)

東京ベイエリア編

ベース局をお台場にし遊びも兼ねて、海上を挟んでハンディ機どうして交信実験をした。電波は海上でかなり届いたが、高所で運用するメリットとデメリットも浮き彫りになった。

モデル撮影：増田 智康



お台場の南端に位置するテレコムセンター展望台。すばらしい景色をゆっくりと鑑賞できる。望遠鏡は無料。

? ハンディ機でどこまで交信できるか



右手でV!.....Xのつもり?!

ハンディ機の交信は見通し距離と言われるが、見晴らしのよい海上なら電波の飛びはきっと良いはずだ。そこで東京湾を舞台に交信実験することにした。

実験は、お台場をベース局にふたチームに別れ、お台場チームはゆりかもめ新橋駅に集合した。

さて高い場所が絶対有利なので、パレットタウン大観覧車に何回か乗って交信してみた。

実験の結果としては、まずお台場と海ほたるは十分交信できた。また同じ20km離れている海ほたと葛西臨海公園も十分交信できた。次に60km以上あるお台場と大房岬だが、お台場からの電波は十分届いているのに、大房岬からの電波はノ



大房岬



富津岬



海ほたる



幕張海浜公園



鋸山



イズ混じりで受信できなかった。理由としては、お台場付近では倉庫街が多く、車載移動局からの強い電波にブロックされてしまうこと、また放送局やさまざまな施設から出る電波と混信を起こしてしまったからだと考える。普及し始めている地上波デジタル(500MHz帯)の影響もあるかもしれない。一方、幕張海浜公園と鋸山(海拔329m)との間は50km以上も離れているが、十分な交信ができた。

得られた結論は、やみくもに高い所に上れば良いわけではないということだ。逆に、高所では混信を受けやすくなる。幕張海浜公園と鋸山間のように、周囲に混信をもたらす原因がない場合には、高い所に登る効果が発揮できる。

パレットタウン大観覧車。頂上近づいてくると期待が高まってくる。頂上で115m、一周約16分だ。

